



みんなで支えあう地域、
誰もが安心して暮らせる
ふれあいのあるまちづくり

社会福祉協議会とは？
社会福祉法に基づき各区市町村に設置された民間団体で、地域福祉の推進を図ることを目的としています。



港区社会福祉協議会(以下港社協)の事務局長・大木 進さんと経営管理係・廣木 浩子さんにお話を伺いました。

●港社協とは？

「支える」「育てる」「つなぐ」を基本方針として、地域の方や関係機関の参加・協力のもと「地域で支えあう」仕組みづくりを行っています。特に高齢者・障害者・子育て家庭など、支援が必要な人を支えるための担い手の育成や、行政や企業・関係機関との連携・協働による「人と人」「人と地域」をつなぐネットワークづくりを推進しています。

●港社協はどのような事業を行っていますか？

高齢者、障害者、子育て家庭などへのサポート事業、ボランティア活動に関する講座や講習会、成年後見制度の推進、総合的な福祉サービス利用援助事業、手話講習会、車いすの貸出など多岐に渡ります。

●具体的には？…

地域の助けあい活動として、高齢者・障害者・病気の人に家事などのお手伝いをする、おむすびサービス(有償在宅福祉サービス※)や育児に関する手助けが必要な方をお手伝いする、育児サポート子むすび※などがあります。



ボランティア入門講座では、車いすの介助体験や施設での体験も行います。講座・体験・振り返りがセットになっています。

※利用、協力等に関しては要件があります。



港区社会福祉協議会のマスコットキャラクター“み～しゃ”を知っていますか？髪型は東京タワーと芝公園、耳は港区の海を表現しています。レインボーブリッジのドレスを着たかわいい女の子です。名前は港区の“み”、みんなの“み”。“しゃ”は社会福祉協議会の“しゃ”から名付けたものです。どちらも公募により決めました。みなさまどうぞ可愛がってください。

港区社会福祉協議会は麻布地区総合支所の 2階で活動しています

社会福祉法人



麻布地区総合支所



切手整理ボランティアグループ「ポピーの会」のみなさんが楽しみながら活動しています。



ふれあい通信“かがり”から、あたたかな心のこもった「はがき」を贈ります。

また、この時期には、ふれあい通信“かがり”として、ひとり暮らしの75歳以上の高齢者にボランティアが書いた年賀状を贈る活動を行っています。はがき1枚から気軽に参加できるボランティア活動です。

障害のある人や高齢者への理解を深めるため、車いすの介助体験や、視覚障害・ガイドヘルプ体験、高齢者擬似体験を行う“ふれあい講習会”を学校や企業などで開催しています。私も福祉体験のひとつとして初めて視野狭く用のゴーグル(視野が狭くなったり、一部が欠けて見える体験のできるもの)をつけてみましたが、想像以上の不安感に驚いてしまいました。

港社協では、事業を通して地域活動への参加の機会を提供するとともに、活動を支援していただける会員も募集しています。

気軽に立ち寄ってみてはいかがでしょうか？

【問合せ】港区社会福祉協議会 電話:03-6230-0280

(取材/浅川一枝、石山恒子 文/浅川一枝)

麻布びと

未来へ残したい麻布の声



「85年続く 麻布の癒しスポット」釣堀は家族で守る」

坪田英子さん(母)
洋子さん(娘)



用具類はすべてそろっている



南麻布3丁目、本村小学校脇の路地を入った突き当たりに、ひっそりとある釣堀「衆楽園」は、知る人ぞ知る都会のオアシスです。「都会の超穴場的な釣堀」「人に教えるのがもったいない気がする遊び場」と評され、『港区老舗・おすすめの店100選』に掲載されています。

麻布で唯一の釣堀をずっと続けたい

水が豊かな麻布本村町で、鯉の釣堀が誕生

釣堀がこの地にできたのは、昭和初期のこと。坪田英子さんの父上が鯉を放ち、スタートさせました。昭和7年生まれの英子さんが物心ついた頃には、父上は毎日忙しく、釣堀で働いていたのを覚えています。「釣りが特別好きではないのに、父が忙しく働くここに来るのが好きでした。」と、当時を振り返ります。

今も昔も、娯楽としての釣りなので、キャッチアンドリリースが基本スタイル。釣ったら、すぐに釣堀に戻します。「当時は娯楽が少ない世の中ですから、釣りを気軽に楽しむ人が、大勢いらっしゃいましたね。」

やがて、第二次世界大戦に突入し、娯楽の全てが禁止となり、ここも強制的に閉鎖の目に遭います。水も魚も放置のまま終戦を迎えました。再開後しばらくしてから、お客さんの勧めで、鯉からヘラブナに魚を変えました。「ヘラブナ釣りは人気があるから、そっちでやってみたらどうですか？」の提案に、英子さんの父上はすぐ応じました。

釣堀のすぐ近くには、昭和28年に開業したホテル藤がありました。昭和31年に麻布プリンスホテルとなり、釣堀までは歩いて3分ほど。文化人、芸能人にもこよなく愛された隠れ家的存在のホテルでした。宿泊客の中にも、釣堀のファンが大勢いて、泊まるたびに通ってくる有名人もいたそうです。麻布プリンスホテルは残念ながら、昭和56年に閉鎖となり、翌々年にはフィンランド大使館が同じ場所に移転してきます。

ヘラブナの釣堀として、人気の的に

英子さんは泰三さんとの結婚後、3年程してから「ごく自然に父は私たち夫婦に経営を譲ってくれるようになりました。」

そして、ヘラブナ専門の釣堀となったのです。この釣堀を下った先は古川で、水は豊富です。創業当時から、井戸水で釣堀の池を作っています。「井戸水は、家にも引いて生活水として使っていましたよ。」と英子さん。「飲んで美味しかった。」と、お嬢さんの洋さんが語ってくれました。20年以上前からは、飲料水には適さないと保健所からの報告があり、釣堀用のみに使っています。「やはり、周囲にマンションが立ち並んで、水の需要も排水も増えたせいでしょうか。」現在も、井戸は枯れることなく、池を充たしてくれています。

釣堀は約10メートル四方のこぢんまりとした広さ。深さは1.4~1.5メートル。底釣りスタイルのため、餌を水底まで沈めて釣ります。釣りに集中するお客さんが多いようです。「お客さんによっては、座る場所がいつも同じ方も。」

土曜・日曜は1日中楽しむお客さんもいます。夏は蚊取線香が必須アイテムとか。

ところで、この釣堀で失態を演じたお客さんはいるのでしょうか? 「はい、釣れたのが嬉しくて大はしゃぎして、池に落ちた方がいらっしゃいます。」と、英子さん。その方は、



英子さんと洋子さん母娘



10メートル四方のこぢんまりした釣堀。

分り難い場所だが、電柱にさりげなく広告が。

近所なので大丈夫、とびしょぬれ姿で帰っていかれたそうです。「要注意は真冬なんです。凍結すると滑りやすくなりますから。」と、洋子さん。足を滑らせて、池に落ちたお客さんも。仕事とはいえ、お二人とも緊張しながらの作業です。

ずっとこの場で続けていきたい、と洋子さん

3代目の洋子さん中心で、今はここを切り盛りしています。「昔からの常連さんが、3代にわたって通ってきて下さるので、がんばっていききたいですね。」洋子さんも両親の働く姿を見ながら、ごく自然に釣堀の手伝いをするようになりました。

毎年11月頃に琵琶湖で養殖しているヘラブナを買い付けます。それが終る晩秋から冬、朝7時から屋外での作業は、寒さとの闘いです。防寒対策万全とはいえ、手足は冷えきってしまい、手荒れも職業病のひとつ。「今年は、先代も愛用していた練炭で暖をとれるように出来ればと思っています。」

釣堀業に関わって、一番嬉しいのは母娘共に「お客さんがヘラブナを釣った時の笑顔」と応えて下さいました。「こんな分り難い場所に、ずっと通ってきて下さるお客さんには、本当に感謝しています。」

70代の女性は、「幼い頃、父に連れられてよく通いました。今もひっそり静かな場所ですが、当時はもっと木々が生い茂っていて、狭い路地の突き当たりなので、父の手をしっかり握って行ったものです。」

昭和30~40年代、「本村小学校と釣堀に挟まれた路地の奥には、小さな平屋建ての一軒家がひしめくように立っていましたね。釣堀と道の境界線は崖で、木々は、今よりうっそうと茂っていました。」と、英子さんが語って下さいました。今は見る影もなく、周囲はマンションが立ち並んでいます。ですが、車が入ってこないこの行き止まりの釣堀は「静かで落ち着けて、また来たくなる」場所になっています。癒される人たちがいる限り、ずっと続けてほしい麻布の名所、と痛感しながら、釣堀を後にしました。



ヘラブナを供養する供養塔は泰三さん英子さん夫妻が平成8年に建てた。



昭和42年の冬。雪降りしきる中でも、常連の親子連れは、いつものように釣りに来たそう。当時はまだマンションが少ない時代だった。

(取材・文/高柳由紀子)



元麻布～南麻布をめぐる

前回に続き、ちいばすめぐり、今回は麻布ルート「広尾駅方面」を行います。仙台坂の上、麻布運動場の前にある「96元麻布二丁目」は、運動場の他、都立中央図書館へのアクセスとしても便利に使えます。その先、木下坂①の下にある「98有栖川宮記念公園」は都営バスには無い停留所、公園・マーケットやオープンカフェ等々街も人も国際色豊かな界限です。②

さらに先「100天現寺橋」付近は隠れた見どころ満載、バスを降り少し散策します。まず天現寺橋交差点角には濃藍の古井戸③、景観に溶け込むその存在に興味をそそられます。また、井戸の前にある銀杏は鮮やかに色づき、冬の訪れを知らせます。④明治通り沿いのカフェが有名な天現寺橋、他にも和食・イタリアン・フレンチが集まる隠れ家的スポット⑤である一方、「たたみ」ののぼり⑥や雑貨屋前の縁台⑦等、懐かしさを感じる風景にも出会えます。さらに富士見坂下に建つ南麻布富士見町会会館⑧は打放しコンクリートのモダンな外観。地域の「楔(くさび)」と思いを込めたそのデザインは、並んで建つフランス大使

館⑨とも調和し、通りの町並みを引き立てています。

フランス大使館先、明治通りを左に進み、バス停「101光林寺」からまたちいばすに乗ります。住宅街や階段路地⑩を見ながら新坂をのぼった先、「101-2本村小学校入口」は、お屋敷跡に建つフィンランド大使館の石垣や料亭のアプローチ等風情ある佇まい。⑪それとは対照的にパキスタン・イスラム共和国大使館、ヨーロッパハウス、アルジェリア民主人民共和国大使公邸と個性的な建物もあり、多文化なる地域性を感じる場所です。⑫

その先ちいばすは仙台坂を降り六本木ヒルズに戻ります。元麻布～南麻布をぐるりと一周、寒い日は車窓からの景色だけでも楽しめるコースです。



(取材・文/鈴木敏江)



アオイスタジオ(株)スタジオ技術部 矢下亮子 さん

映像 エディター 世の中にはいろいろな仕事があります

子どもに生きていく力を KIDS! ハローワーク



紙面に書ききれませんが、矢下さんへの一問一答は全部で約50問に至りました。

ずっと「テレビをつくる側」になりたかった

今回のテーマは映像エディターのお仕事です。港区立高陵中学校1年生5名が、アオイスタジオ(株)(麻布十番)の矢下亮子さんにお話をうかがいました。

◎ どんなお仕事ですか？

演出家の指示に従って、撮影後の映像を仕上げる仕事です。TVCMや映画の予告篇などの映像編集作業をしています。昔は撮ったフィルムを切り貼りすることもあったようですが、今は映像データを取り込んだパソコンとずっと向き合っている作業です。長い仕事だと3日間くらいかかるので体力が必要です。スタジオにこもりきりになると、大ニュースがあっても周囲が大騒ぎになっていても知らずについて1日遅れで知ることもあります。

◎ なぜその仕事に就こうと思ったのですか？

子どもの頃からテレビを見ていて「つくる方の仕事にたずさわりたい」と思っていました。実は大学では音響について勉強して現在の会社に入ったのですが、映像エディターの方の仕事にも誘われ、面白そうだと思ってやってみました。(質問者の感想:ぼくは映像エディターという仕事に魅力を感じました。ぼくも映像をさらにきれいで格好よくし、素晴らしい作品にしてみたいです。)

◎ どうしたらなれますか？

絶対に必要な勉強や資格などはありません。専門学校に行く人もいますが、行ってない人も多いです。「やりたい」という強い気持ちがあればこの仕事には就けると思います。

◎ どのような人が向いていますか？

まずは、一つのことに集中して取り組める人。好きな仕事であれば集中できます。時間がかかるし不規則なので、体力のある人。さ



オンエアまたは上映前の映像を扱っているので編集作業自体の見学はできませんでしたが、空いていたスタジオで、マスモニ(=マスターモニター:色彩の判断基準になる業務用のモニター)などの説明を受けました。

らに大事なのはコミュニケーションがとれること。演出家との打合せの際、指示を正確に受けとめて対応するために必要だからです。

◎ 仕事で失敗したことはありますか？

1年目か2年目のアシスタント時代、段取りが悪くて準備が遅れたり、ミスをしたりしてスタッフやお客さまに迷惑をかけてしまったことがあります。やっぱり周りに迷惑をかけるのはイヤですね。

(質問者の感想:ぼくは周りによく迷惑をかけるので見習いたいと思いました。)

(取材・文/浅野栄斗、五十嵐翼、岩城正姫、関根琳、橋本優希 取材サポート/大村公美子)



ドイツ連邦共和国
 面積： 35.7万平方キロメートル(日本の約94%)
 人口： 8,175万人(2010年末)
 首都： ベルリン(約346万人)
 言語： 独語
 宗教： キリスト教(カトリック2,518万人、プロテスタント2,452万人)、ユダヤ教(11万人)
 政体： 連邦共和制(16州:旧西独10州、旧東独5州及びベルリン州。1990年10月3日に東西両独統一)
 元首： ヨアヒム・ガウク大統領(2012年3月23日就任、任期5年)
 議会： 二院制(但し、連邦議会と比べ連邦参議院の権限は限られている。)
 外務省ホームページ
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/germany/data.html>より
 フォルカー・シュタンツェル駐日ドイツ大使
 取材協力/ドイツ大使館

大使を訪ねて ②
麻布の"世界"から



Germany

ドイツと日本の友好関係は麻布に始まり、150年経た現在も脈々と続く

EU諸国の中で、圧倒的な経済力で影響力を持つドイツ連邦共和国と日本の関係は、とても深い。国交が樹立された151年前、そして現在のドイツ連邦共和国大使館も全て麻布が舞台です。親日家のフォルカー・シュタンツェル駐日ドイツ大使にお話を伺いました。



ドイツと日本の友好関係は麻布から始まった

有栖川宮記念公園脇の南部坂を挟んで佇む駐日ドイツ連邦共和国大使館。芝生と池と大木のある庭園の深い緑に囲まれています。

フォルカー・シュタンツェル駐日ドイツ連邦共和国大使は、フランクフルト大学で日本学、中国学、政治学を専攻され、3年間の京都大学留学の経験をお持ちです。更に、外務省入省後、駐日大使館で政務・広報も担当されています。イタリア、ハンガリー、イエメン各大使館勤務及び駐中国大使を経て、2009年から駐日大使を務められています。氏は驚くほど流暢な日本語で、インタビューに応じて下さいました。

ドイツと日本の関係は、非常に密接です。例えばP.F.シーボルトは西洋医学を日本にもたらし、アジサイに和名を付けるなど日本の植物や博物などを世界に紹介しました。彼によって日本は西洋医学に目覚めたと申し上げると、大使は「ドイツ・日本の交流はE.ケンペルにさかのぼります」と言われ、さらに学術、文化交流の大切さを強調されました。

歴史を振り返ると、麻布との密接な関係が浮かび上がります。1861(文久元)年1月、ドイツ誕生前のプロシアと日普修好通商条約を結び、昨年150周年を迎えました。プロシアの外交使節が宿舎として使用し、やがて公使館となったのが、麻布仙台坂脇の春桃院(現在は南麻布3丁目に移転、臨濟宗)です。今は駐車場ですが、「プロシア公使館跡」の碑が建っているとお伝えすると「その通りです」と、大使はとても嬉しそうに頷かれました。



仙台坂脇にあるプロシア公使館跡の碑

少子高齢化は日独ともに抱えている問題

さて、現代に目を向けると、ドイツも日本も同じ問題を抱えていることが分ります。それは『少子高齢化』です。人口構成をみると、ドイツも日本も明確に把握できます。WHO世界保健統計2012年で、60歳以上の人口比率は、日本が30%(世界1位)に対し、ドイツは26%(同4位)。イタリアとサンマリノは各27%(同2位)。大使はその要因を高年齢出産の増加と、高い離婚率(50%!)と分析しています。

子どもの減少傾向は両国同じですが、「ドイツでは18歳を過ぎると若者は家を出て独立するのが一般的です。若者同士でシェアハウスなどで生活します。私の場合は京都に留学しましたがね(笑)」

日本では家賃の高さなどから、独身の若者が独立しづらい状況といえるかもしれません。



大使館前で迎えてくれるクマは、昨年、日独交流150周年を祝うイベントで子どもたちによってペイントされたもの。胸部分には、来日した当時の大統領の直筆サインが。

最後に大使に麻布のお気に入りの場所、レストランなどおありですかとお尋ねをすると、「公務が忙しく、なかなか外に出ることかできません」と少し残念そうにお答えになりました。そして、にこやかに「その様な場所やお店を皆さんと探してみたいですね」と言われ、颯爽と次の公務に向かわれて行きました。

大使は、京都大学留学時代の思い出や、公務の日記を、日本語で綴っています。読者の皆様に一読をお勧めします。

<http://ambassador.blogs.young-germany.jp/>
 (取材/森 明、大村公美子、高柳由紀子 文/大村公美子、高柳由紀子)



- 1 館内は吹き抜けて開放感いっぱい。2005年に耐震構造に改築された。
- 2 1Fでは職員がお茶を飲むスペース「ローマ人の山」(Römerberg)がある。名前の由来は、フランクフルトの町の中一番大きい広場がそうよばれているのだ。
- 3 大使公邸のある敷地は、明治・大正の政治家、小泉策太郎氏の屋敷跡を引き継いだもの。
- 4 庭園は手入れがよく行き届き、江戸時代を彷彿とさせる。造園家飯田十基氏が設計・監督したもの。庭園南の奥には東屋が。
- 5 元禄16年(1703)京都で造られたもので、小泉氏が所有していた。鐘楼は日独交流に尽くしたヤンマー創業者、山岡孫吉氏が昭和34年(1959)に寄贈したもの。

Azabu Cool

麻布地区在住、在学、または在勤の外国人の方々に登場いただき、日本の印象をお聞きます。今回は六本木ヒルズ内で英会話講師を務めているエイドリアン・コーンさん(オーストラリア出身)にお話を伺いました。



好きな漢字をリクエストすると、ボックスが3つ並んだ「品」、流れる様子を表した「川」など、意味が理解しやすい漢字で出来た駅名「品川」を挙げていただきました。



着心地のよい「ゆかた」姿

来日のきっかけを教えてください。

数年前、当時オーストラリアに留学中だった妻と知り合いました。その後、結婚するに至り昨年1月に来日しました。確か日本到着時刻が夜の8時で、気温が30度のゴールドコーストから気温1度の世界に降り立った時は本当に凍りそうでした(笑)。

今はどんなお仕事をなさっていますか？

乳幼児からビジネスマンまで、幅広い層に英語を教えています。私自身幼い頃に祖父母の話すフランス語やイタリア語を聞いて育ったことが今の言語理解につながっていると思うので、幼少時から英語に触れるのは有効なことと思います。来日前は銀行に勤めていたのですが、今の方が自分に合っていると思います。目の前の生徒さんの英語力向上を助けることに喜びとやりがいを感じてハッピーです。



お仕事中のエイドリアンさん。

日本の好きな場所、好きなものを教えてください。

温泉が大好きで、お台場、みなとみらいや箱根などを訪れました。温泉に入ったあとはお肌がすべすべになるのを実感しますね。中でも箱根は温泉だけでなく



美しい風景も楽しめるので大のお気に入りです。書道作品の鑑賞も好きで、素早い筆さばきと、見事な作品の出来栄にいつも驚嘆しています。

日本食はいかがですか？

もちろん大好きです。日本に来てからこの2年でもかなり体重が増えました。天ぷら、うなぎ、お好み焼き、どら焼きなど何でも頂きます。ただ納豆は、においやネバネバが気になってやはりどうしても好きになれません。苦手なものといえば、初めて和式トイレを見たときにはその奇妙な形にたじろぎ、未だに一度も使ったことがありません。

オーストラリアに帰国する際にはご家族にはどのようなプレゼントをしましたか？

母や妹には銀座のデパートで買った洋服を、父には姫路城や浅草寺、東京タワーやスカイツリーのナノブロック(日本製の世界最小級ブロック)をプレゼントして喜ばれました。

エイドリアンさんの2013年の夢はご夫婦で富士山の頂上まで登ることだそうです。



ナノブロックを完成させて喜ぶお父様(オーストラリア在住)

(取材・文/大村公美子、福本綾子)

地域社会のゆくえ

9

なんと港区内に2万箇所以上！

雨水マス害虫防除作業

人間にとって、厄介な蚊の防除法のひとつは、幼虫時のボウフラを増やさないこと。蚊類の発生を抑える「衛生害虫防除作業」が、みなと保健所生活衛生課の指示で行われています。雨水マスに『害虫防除剤』を1粒ずつ投入する作業で、委託されているのが、公益社団法人港区シルバー人材センター(以下シルバー)。昭和57年から30年に渡り、続いています。

一口に雨水マスといっても、港区内に何箇所あるか、ご存知ですか？区道、都道、国道、私道を含め、実に約2万4730箇所という膨大な数にのぼります。これら全ての雨水マスに錠剤を投入するという、地味ながら根気のいる作業を、現在51名のシルバーの会員さんで行っています。

元麻布エリア担当のSさんに同行しました。「作業日は、錠剤をもらって1-2日で終わらせます」雨天の場合は翌日。担当エリアの雨水マスの箇所を記した地図を手渡され、早朝に始まります。交通量が少ない時間帯であり、ゴミ出しの日でも、その前に終わらせます。実施は5~10月の年6回、決められた日程に添って行いますが、特に夏は、暑さ対策で作業開始が夜明け直後、と早くなります。

Sさんの担当は451箇所。3年のキャリアがあるので、地図を見なくても、雨水マスの

位置がほとんど頭に入っているそう。同行当日は仙台坂周辺での作業。慣れた手つきで、錠剤の投入を進めていきます。終わった雨水マスには、確認のためにチョークで『レ』点を、地図にも印をつけます。

麻布エリアは坂が多いので、体力が必要ですか？、と伺うと「健康のために、いい運動ですよ」と、Sさん。また、24時間体制の警備の大使館が多く、「ご苦労様です」と感謝の言葉をかけてもらえるので、やりがいがありますと、笑顔が。シルバーの腕章をつけて、交番にも挨拶した上での作業ですが、以前は警察官に呼び止められたことも。通行の人から作業中に話しかけられると、丁寧に説明しています。

「作業して下さるお陰で、港区は蚊が少ないんですね、ありがとうございます」と、お礼の言葉もたくさん頂くそうです。

取材を通じ、改めて作業される方々への、感謝の気持ちでいっぱいになりました。



雨水マスが記載されている地図。



雨水マスに錠剤を投入。



錠剤投入後は『レ』点をつける。

雨水マス：

道路に降った雨を下水道管に流すために設置されている“マス”のこと。



アトリエで愛犬とともにくつろぐ、レーモンドとノエミ夫人。
(写真提供/レーモンド設計事務所)

日本の建築の近代化を推し進めた建築家、アントニン・レーモンド(1888-1976)。生涯の半分を日本で過ごし、400を超える作品を残す。戦後は麻布^{こうがい} 筈町(現・西麻布3丁目)に自宅兼設計事務所を構えたレーモンドの、日本への思いとはどのようなものであったか。そしてその設計は、どのような思想に基づいていたのかを語りたい。

日本を愛したレーモンドの人生と仕事

レーモンドはアメリカ人の建築家として知られているが、生まれは1888年(明治21年)、チェコのクラドノという町である。大学で建築を学ぶも、自由な活動を求めて渡米。画家をめざした時期もあったが、フランス人の画家、ノエミ・ペルネサンと結婚した後は、かのフランク・ロイド・ライトのもとで建築士として働きはじめる。若い頃から東洋哲学を学び、日本へ深い関心を寄せていたという。師であるライトが帝国ホテルの総支配人、林愛作より設計をまかされたことは、レーモンドにとって運命を大きく転換させることとなった。1919年(大正8年)12月31日、31歳でライトとともに来日。横浜港に降り立ち目にした、正月の祝い飾りをつけた家、派手な着物を着た人々、歌声、三味線の音が響く情景に感銘を受け、自伝の中で、その日のことは「私たちは決して忘れはしないだろう」と語っている。

帝国ホテルの仕事を終えたライトが帰国しても、レーモンドは日本にとどまる。1920年(大正9年)、三菱仲21号館で会社を設立し、自身の設計活動を開始。1923年(大正12年・関東大震災の年)、レーモンド設計事務所を名乗る。そして霊南坂(現・赤坂)に自邸を建築。日本初のコンクリート打ち放しの建物である。上流階級に知己を得て、大規模な公共建築や邸宅を次々と受注する。自身は、ライトの影響を抜け出せずに腐心したというが、実際のところ、その作風は多彩だ。自然との融合を大切にし、コンクリート、ガラス、木、鉄といった多様な材料を、素材の持ち味そのままに生かす独特の手法を編み出していく。とりわけ日本の古民家にヒントを得た木造住宅は、「レーモンドスタイル」として広く知られている。家具をはじめとするインテリアデザインは、主にノエミ夫人が担当した。当時の事務所には、後に名建築家と言われる吉村順三、前川国男、家具の名デザイナー、ジョージ・中島らがいた。

第二次世界大戦前後の10年間はアメリカに戻り、戦後、60歳で再び来日し事務所を再開。精力的に仕事を続ける。作品は枚挙にいとまがないが、現在、港区内で見られるものとしては、麻布台のロシア大使館、芝公園の聖オルバン教会、西麻布のカニングハム邸(現・カニングハム・メモリアルハウス。Vol.15の「麻布の軌跡」で特集)などがある。

麻布・筈町の自宅兼事務所

興味深いのは、戦後、自宅兼事務所を麻布に構えたことだ。筈町の600坪の敷地に、中庭を擁した平屋、地下には社員のための食堂、庭にはプールも設けられていた。洋風の丸太架構技術を用い、壁は合板あらわし、開口部には障子や出雲和紙を使用。素材本来の素朴さや力強さを生かし、さらに経済性を取り込んだ、レーモンドスタイルの真骨頂ともいえるデザインである。

事務所内の雰囲気はどのようなものであったか。1967年(昭和42年)に入社した、現在のレーモンド設計事務所、代表取締役社長の三浦敏伸さんに話をうかがった。レーモンドの最後の弟子となった方である。「彼は建築界のいわばカリスマですから、超ワンマンで個性的。英語しか話しません。こわい存在でした」。日中は社員の製図室をめぐり、レーモンドがそばに来ると、社員はさっと席をゆずり指示を受けるのが日常だった。寸・尺・間といった日本のモジュールを用い、竹製の物差しとディバイダー(両脚に針をもつコンパス)を使用、「きわめて細かく寸法を決め、わずかでも違うと徹底して修正させられました。美しい線を誠実に描く技術を、社員は皆、たたき込まれたのです」。しかしながら、ライフスタイルはいかにもアメリカ風で、夕方5時に仕事を終われば、ウィスキーを片手にのんびりとくつろぎ、社員たちに家族のような親愛の情を示していたという。「皆、レーモンドのことは『オヤジ』、ノエミ夫人は『オバアチャン』と呼んでいたのですよ」。そんなニックネームに、社員たちのレーモンド夫妻を慕う気持ちがうかがえる。



平屋の建物は、南側が自宅、中庭をはさんで奥に事務所があった。プール遊びは所員たちの夏の楽しみの一つだったという。
(写真提供/レーモンド設計事務所)

製図室で、社員に図面の指導をするレーモンド。
(写真提供/レーモンド設計事務所)

継承されるレーモンドの哲学

1973年(昭和48年)離日し、ペンシルベニア州のニューホープへ戻る。そして3年後、レーモンドは88歳でその人生に幕を下ろした。レーモンドが去った後の事務所は、バブル経済期へ向けて事業が拡大し、麻布では手狭になり、1978年(昭和53年)、代々木に自社ビルを建築して移転する。

その際、旧自宅のアトリエをビルの階上に移築し、愛用の家具などとともに「メモリアルルーム」として保存することになった。むろん建物だけでなく、『われわれの設計原則は人間尺度によってより単純に より直截に より経済的に ころから創ることにある』というレーモンドの思想は、今も会社の理念として引き継がれているという。「直接教えを受けた私の責任は重大です」と三浦さん。現在では月に1度全社員を集めて自ら講演し、終了後には、麻布時代からの習わしとして、レーモンドの唱える自給自足の精神に重きをおいて、社員一同でバーベキューの準備をし懇親するという。レーモンドの哲学は、三浦さんを通じて、これからの建築界をになう日本の若きアーキテクトたちへ継承されている。

参考文献/自伝アントニン・レーモンド(新装版)三沢浩訳 鹿島出版会
アントニン・レーモンドの建築 三沢浩著 鹿島出版会
現代日本建築家全集1 編集著作者 栗田勇 三一書房
産業新潮 2006年9月号 vol.648 産業新潮社

(取材/森 明、大村公美子、田中亜紀 文/田中亜紀)

レーモンド設計事務所 麻布の軌跡

Antonin Raymond



社長の三浦敏伸さん。ご自身も麻布育ちだ。なお、六本木交差点の象徴でもある喫茶店、アマンドの入った新しいビルも、現在のレーモンド設計事務所の作品の一つ。

現在の事務所ビルの階上に移築された、旧自宅のアトリエ。一般公開しており、申し込みは見学できる。

麻布地区総合支所は、地域のさまざまな課題について、区民の皆さんの立場で、ともに考え、ともに解決に取り組んでまいります。

港区基本計画・麻布地区版計画書 (平成24年度～平成26年度)について

港区は、区が進むべき方向性を示した港区基本計画の見直しを行い、「港区基本計画(平成24年度～平成26年度)」を新たに策定しました。また、区内5地区でも、それぞれ個別に「地区版計画書(平成24年度～平成26年度)」を新たに策定しました。これには、地域の実情や特有の課題を踏まえ、解決策や各地区の魅力を高める各地区独自の地域事業を盛り込んでいます。

麻布地区においては、前計画に引き続き、検討の初期段階から区民参画の手法を取り入れて「麻布地区版計画書(平成24年度～平成26年度)」を策定しました。今後は、実行段階でも区民の参画を得ながら、成果を検証していく予定です。このコラムでは、本計画に盛り込まれている麻布地区の12の地域事業を4回に分けてご紹介していきます。

なお、本計画に定められている麻布地区がめざす将来像は「生活者優先の、安全で安心して快適に住み続けられる国際・文化都市」です。これは、公募により集まった麻布地区の区民参画組織「麻布を語る会『基本計画協働推進』分科会(今年度からは『麻布地区版基本計画策定』分科会)」の皆さんの提言をもとに、多くの区民の皆様と連携・協力して実現していくべき姿として定めたものです。

麻布地区地域事業について

1. 協働事業提案制度

【事業化に至った課題認識】

区民、企業、外国人など麻布地区に住み、働き、学び、活動するすべての人びとが様々な協働のかたちを通じて、地区の将来像実現に向けた取組を検討する機会を設けていきます。

【事業の内容】

地域の意見を地区政策に反映させるとともに、参画と協働の取組の実践として、一般区民からの事業提案を公募の上選定し、事業化(単年度)した上で協働により実施していきます。

全体計画目標 (26年度末)	現 状 (23年度末見込)	事業計画			
		24年度	25年度	26年度	計
実施	-	周知・実施	実施 (事業化)	実施 (事業化)	実施

2. 防災ネットワーク構築事業

(旧名称:災害時セーフティネット構築事業)

【事業化に至った課題認識】

麻布地区内には、日々多くの通勤・通学・買い物客等が流入滞在しており、災害発生時には混乱等も予想されます。また、町会・自治会等から災害時における帰宅困難者への支援についての不安の声が上がっています。

地区内企業や在住外国人と連携して、具体的な災害対策を検討する必要があります。

【事業の内容】

港区地域防災計画に基づき、麻布地区内の帰宅困難者、外国人、来街者等への具体的な対策を地区内企業・関係団体等と連携して取り組んでいきます。



全体計画目標 (26年度末)	現 状 (23年度末見込)	事業計画			
		24年度	25年度	26年度	計
麻布地区事業所 防災ネットワーク 会議参加事業所 25社 年1回の 訓練実施	麻布地区事業所 防災ネットワーク 会議参加事業所 15社 年1回の 訓練実施	災害時の 行動計画 の作成等	検 証 ・ 実 施	検 証 ・ 実 施	災害時の 行動計画 の 策定・実施

3. 麻布防災案内事業

【事業化に至った課題認識】

麻布地区では、災害時に通勤・通学・買い物客等が帰宅困難者となった場合、地区内居住者向けの避難場所や備蓄等に影響を及ぼす恐れがあります。

【事業の内容】

『まちの溜まり空間』を創出するとともに、震災時にも対応出来る、外国語にも対応した案内板等を設置します。

広域避難場所や避難所等の防災情報周知のために、公園内に防災マップの掲示板を設置するとともに、地区内9避難所に避難所を中心とした帰宅支援マップ等を作成し、災害時に掲示します。

全体計画目標 (26年度末)	現 状 (23年度末見込)	事業計画			
		24年度	25年度	26年度	計
掲示板の設置 マップの作成	-	設 置 ・ 作 成	設 置 ・ 作 成	設 置 ・ 作 成	設 置 ・ 作 成

高陵中学校屋内プール開放 運動不足の解消に!お仕事帰りの運動に!港区在住・在勤者の方に通年開放しています

所在地	港区西麻布4丁目14番8号 電話/5464-7749(プール開放時間に通話できます)	
利用日	木・金・土・日曜日	
時 間	木・金曜日	午後6時30分～午後8時30分
	土・日曜日 祝日の木・金曜日	午前10時～正午・午後1時～3時・ 午後3時30分～5時30分・午後6時～8時

※上記の利用日、時間については、学校行事等により休止する場合があります。
詳しくは、区のホームページをご覧ください。
※年末年始(12/28～1/4)は休止します。

【利用料金】2時間:大人300円 小・中学生100円 団体13,000円

- 第1・3日曜日、区民の皆さんは無料です。
- 第2・4土曜日、港区在住の小・中学生は無料です。

【対 象】区内在住・在勤者

- ※プールを利用するときは、登録証が必要です。
- ※登録証はプール受付で作成できます。在住・在勤の証明ができるものをお持ちください。中学生以下は不要です。
- ※3歳未満とおむつの取れていない乳幼児は利用できません。



問合せ/教育委員会事務局生涯学習推進課スポーツ振興係
電話/03-3578-2747

区のホームページ/<http://www.city.minato.tokyo.jp/>

港区麻布地区 総合支所だより

総合支所からの お知らせ

子育て座談会

「赤ちゃんがいる暮らし～みんなの育児はどう?～」

育児でお困りのことについて、参加者と講師が気軽に話しながら、みんなでほっとできる座談会です。

対象 麻布地区在住の1歳半までの子と親

①日時 平成25年1月22日(火)
午後1時30分～3時

テーマ 「寝かしつけ」

申込み 平成25年1月4日(金)から
1月16日(水)まで 電話申込み

②日時 平成25年3月26日(火)
午後1時30分～3時

テーマ 「最近、気になること」

申込み 平成25年3月1日(金)から
3月18日(月)まで 電話申込み

場所 麻布区民センター

募集人数 10組(保育つき)

費用 無料

問合せ/
麻布地区総合支所 区民課 保健福祉係 保健師
住所/港区六本木5-16-45
電話/03-5114-8822

麻布税務署からの お知らせ

申告書提出は、
e-Taxにてお早めに



- 平成24年分の確定申告書の提出期間
 - ・所得税2月18日(月)～3月15日(金)
 - ・贈与税2月1日(金)～3月15日(金)
 - ・個人事業者の消費税及び地方消費税
1月4日(金)～4月1日(月)
 ※所得税の還付申告は2月15日以前でも受付しています。
- 平成24年分の確定申告の納期限
 - ・所得税及び贈与税 3月15日(金)
 - ・個人事業者の消費税及び地方消費税
4月1日(月)

- 申告書の作成は、国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」をご利用下さい。
- 税務署の窓口は混雑しますので、申告書の提出については、下記の方法をご利用ください。
 - ・e-Tax(イータックス)で申告する
 - ・郵便や信書便により送付する
- 税務署の申告書作成会場は、2月18日(月)から開設します。
- 納税は振替納税で、還付金の受取は預貯金口座への振込をご利用ください。

問合せ/麻布税務署
電話/03-3403-0591

国税庁ホームページ/ www.nta.go.jp
e-Taxホームページ/ www.e-tax.nta.go.jp

都税事務所からの お知らせ

納期内納税にご協力をお願いします!
12月はオール東京滞納STOP強化月間です!
～東京都と区市町村が連携し、徴収対策を集中して実施します!～

都と区市町村では、安定した税収確保と納税の公平性確保を目指して、本年12月を「オール東京滞納 STOP 強化月間」と位置づけ、都と区市町村が連携した広報や催告による納税推進、差押えやタイヤロック、搜索等の滞納処分など、多様な徴収対策に取り組んでいます。



東京都による搜索の様子

○連携事例の具体例
平成23年度、東京都では区市町村から滞納事案の引継を受け、148回の搜索(強制調査)を実施。460件の差押えを行いました。



納税相談の問合せ/
納税通知書等に記載の各都税事務所、
市役所、町村役場等をご確認下さい。
強化月間の問合せ/
主税局徴収部個人都民税対策課
電話/03-5388-2891

「麻布未来写真館」 パネル展を開催します!

麻布地区総合支所では、麻布のまちの変化を保存する取組として、管内企業や学校等の協力のもと、区民とともに麻布の昔の写真収集やまち歩きを行い、パネル展の検討等を進めてきました。

このたび、今と昔の比較写真などのパネル展を、区内各施設で3期にわたって開催いたします。是非ご覧ください。



昨年度パネル展の様子

◆第1期パネル展

会場 東京ミッドタウン1階フジフィルムスクエア
日時 平成25年2月1日(金)～2月14日(木)
午前10時～午後7時(※最終日は午後4時まで)

◆第2期パネル展

- ①会場 東洋英和女学院 本部・大学院棟 1階 史料展示コーナー
日時 平成25年2月12日(火)～2月22日(金)(※日除く)
午前9時～午後5時(※最終日は午後4時まで)
- ②会場 ありすの杜南麻布 1階 地域交流コーナー
日時 平成25年2月12日(火)～2月22日(金)
午前10時～午後5時

③会場 麻布地区総合支所 1階ロビー
日時 平成25年2月12日(火)～2月22日(金)
午前9時～午後5時

◆第3期パネル展

会場 港区役所 1階ロビー
日時 平成25年3月4日(月)～3月15日(金)(※土・日除く)
午前9時～午後5時
詳細は、問合せください。

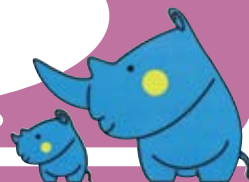
問合せ/麻布地区総合支所
協働推進課 地区政策担当
電話/03-5114-8812

編集委員を募集しています。

ご住所・氏名・職業(学校名)・電話番号・希望する理由(日本語又は英語、字数・様式自由)を書いて、直接又は郵送・ファックスで、〒106-8515 港区六本木5-16-45 麻布地区総合支所 協働推進課へ。

●電話/03-5114-8802 ●FAX/03-3583-3782

より魅力的な紙面にするために
“編集委員”として
ぜひご参加ください。



地域情報紙
「ザ・AZABU」は
ホームページからも
ご覧になれます。



編集後記

今号より編集部に戻ってきました。会議はいつも目から鱗が落ちる地元のイイ話が飛び出すのですが、今宵も校閲作業の話題が脱線?...いや発展。P05の雨水マスの話は初耳で、色々な方に話を伺い、本を調べて地域を再発見できる楽しさを改めて感じた2時間でした。冷え込む日に暖かい話で心もポカポカ。来年も地域住民の心のカイト「ザ・AZABU」をよろしくお願ひ致します。(西野さつき)

「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽に問合せください。
年中無休/午前7:00～午後11:00 ※英語での対応もいたします。

電話/03-5472-3710 FAX/03-5777-8752
Eメール/info@minato.call-center.jp

“Minato Call” information service
Minato call is a new city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.
Minato Call: Tel: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752; E-mail: info@minato.call-center.jp

AZABU

●配布設置場所ご案内
六本木1丁目、六本木、広尾、麻布十番の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと図書館、麻布図書サービスセンター、南麻布・本村・麻布・西麻布・飯倉の各いきいきプラザ、麻布区民センター、麻布地区総合支所等

●本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

- Chief 尾崎恭彦
- Sub Chief 石山恒子
- Staff 浅川一枝
出石供子
大村公美子
折戸桂子
加藤智恵
浅野栄斗
- Junior Staff 五十嵐翼
石山 茜
- 倉石哲良
鈴木敏江
高柳由紀子
西野さつき
岩城正姫
大村 響
鈴木大智
- 福本綾子
満木葉子
森 明
山下良蔵
鈴木美砂
関根琳
橋本優希